

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成30年12月13日(2018.12.13)

【公表番号】特表2017-533560(P2017-533560A)

【公表日】平成29年11月9日(2017.11.9)

【年通号数】公開・登録公報2017-043

【出願番号】特願2017-523486(P2017-523486)

【国際特許分類】

H 05 B 37/02 (2006.01)

【F I】

H 05 B	37/02	H
H 05 B	37/02	L

【手続補正書】

【提出日】平成30年10月30日(2018.10.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ネットワーク照明デバイスの近同期制御方法であって、

目標色空間分解能を有する目標色空間内の目標色点を受信する、及び／又は、目標強度空間分解能を有する目標強度空間内の目標強度レベルを受信し、更に、前記目標色点及び／又は前記目標強度レベルに基づいて、光を放出するように同期制御されるネットワーク照明デバイスの識別子を受信するステップと、

前記ネットワーク照明デバイスの受信した前記識別子と、受信した前記目標色点及び／又は受信した前記目標強度レベルとに基づいて、目標制御コマンドが、最大制御コマンド長を超えるかどうかを決定するステップと、前記目標制御コマンドが、前記最大制御コマンド長を超える場合、

同期制御される前記ネットワーク照明デバイスの数に基づいて、また、前記最大制御コマンド長に更に基づいて、近似色空間に関連し、前記目標色空間分解能よりも低い分解能の近似色空間分解能、及び／又は、近似強度空間に関連し、前記目標強度空間分解能よりも低い分解能の近似強度空間分解能を決定するステップと、

前記目標色点に基づいて、前記近似色空間内の近似色点、及び／又は、前記目標強度レベルに基づいて、前記近似強度空間内の近似強度レベルを決定するステップと、

同期制御される前記ネットワーク照明デバイスの受信した前記識別子と、前記近似色点及び／又は前記近似強度レベルとに基づいて、近似制御コマンドを送信するステップと、
を含む、方法。

【請求項2】

前記近似色空間は、前記目標色空間に等しく、及び／又は、前記近似強度空間は、前記目標強度空間に等しい、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記近似色空間は、前記目標色空間に等しくなく、及び／又は、前記近似強度空間は、前記目標強度空間に等しくなく、

近似色空間分解能を決定する前記ステップは、受信した前記目標色点に基づき、及び／又は、近似強度空間分解能を決定する前記ステップは、受信した前記目標強度レベルに基づく、請求項1に記載の方法。

【請求項 4】

制御される前記ネットワーク照明デバイスの、受信した前記目標色点と現在の色点との色差、及び／又は、受信した前記目標強度レベルと現在の強度レベルとの強度差を決定するステップを更に含み、

近似色空間分解能を決定する前記ステップは更に、前記色差に基づき、及び／又は、近似強度空間分解能を決定する前記ステップは更に、前記強度差に基づく、請求項 1 乃至 3 の何れか一項に記載の方法。

【請求項 5】

目標色点及び／又は目標強度レベルを受信する前記ステップは、目標色点及び目標強度レベルの両方を受信するステップを含み、

前記方法は更に、

受信した前記目標色点と前記現在の色点との前記色差が、所定の色差閾値を下回ることを決定するステップを含み、

近似色空間分解能を決定する前記ステップは、前記近似色空間分解能がゼロであると決定するステップを含み、

前記近似制御コマンドは、制御される前記ネットワーク照明デバイスの前記識別子と、前記近似強度レベルとを含む、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

目標色点及び／又は目標強度レベルを受信する前記ステップは、目標色点及び目標強度レベルの両方を受信するステップを含み、

前記方法は更に、

受信した前記目標強度レベルと前記現在の強度レベルとの前記強度差は、所定の強度差閾値を下回ることを決定するステップを含み、

近似強度空間分解能を決定する前記ステップは、前記近似強度空間分解能がゼロであると決定するステップを含み、

前記近似制御コマンドは、制御される前記ネットワーク照明デバイスの前記識別子と、前記近似色点とを含む、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 7】

色差の強度差に対する比率を決定するステップと、

決定された前記比率が所定の閾値を上回る場合、前記ネットワーク照明デバイスに、更なる制御コマンドを送信するステップと、

を更に含み、

前記近似制御コマンドは、制御される前記ネットワーク照明デバイスの前記識別子と、前記近似色点とを含み、

前記更なる制御コマンドは、制御される前記ネットワーク照明デバイスの前記識別子と、前記近似強度レベルとを含む、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 8】

色差の強度差に対する比率を決定するステップと、

決定された前記比率が所定の閾値を下回る場合、前記ネットワーク照明デバイスに、更なる制御コマンドを送信するステップと、

を更に含み、

前記近似制御コマンドは、制御される前記ネットワーク照明デバイスの前記識別子と、前記近似強度レベルとを含み、

前記更なる制御コマンドは、制御される前記ネットワーク照明デバイスの前記識別子と、前記近似色点とを含む、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 9】

前記色差及び／又は前記強度差が、それぞれ、所定の色差閾値及び／又は所定の強度レベル閾値を下回るネットワーク照明デバイスの第 1 のセットを決定するステップと、

前記色差及び／又は前記強度差が、それぞれ、前記所定の色差閾値及び／又は前記所定の強度レベル閾値を上回るネットワーク照明デバイスの第 2 のセットを決定するステップ

と、

前記ネットワーク照明デバイスに、更なる制御コマンドを送信するステップと、
を更に含み、

前記近似制御コマンドは、制御されるネットワーク照明デバイスの前記第1のセットの
前記ネットワーク照明デバイスの前記識別子、前記近似色点、及び／又は、前記近似強度
レベルを含み、

前記更なる制御コマンドは、制御されるネットワーク照明デバイスの前記第2のセットの
前記ネットワーク照明デバイスの前記識別子、前記近似色点、及び／又は、前記近似強度
レベルを含む、請求項4に記載の方法。

【請求項10】

前記ネットワーク照明デバイスは、メッシュネットワークの一部である、請求項1乃至
9の何れか一項に記載の方法。

【請求項11】

ネットワーク照明デバイスを同期制御する制御デバイスであって、

目標色空間分解能を有する目標色空間内の目標色点を受信する、及び／又は、目標強度
空間分解能を有する目標強度空間内の目標強度レベルを受信し、更に、前記目標色点及び
／又は前記目標強度レベルに基づいて、同期制御される各ネットワーク照明デバイスの識
別子を受信する第1のインターフェースと、

前記ネットワーク照明デバイスの受信した前記識別子と、受信した前記目標色点及び／
又は受信した前記目標強度レベルとに基づいて、目標制御コマンドが、最大制御コマンド
長を超えるかどうかを決定するプロセッサと、

前記目標制御コマンドが、前記最大制御コマンド長を超える場合、同期制御される前記
ネットワーク照明デバイスの受信した前記識別子と、近似色点及び／又は近似強度レベル
とに基づいて、近似制御コマンドを送信する第2のインターフェースと、

を含み、

前記プロセッサは更に、同期制御される前記ネットワーク照明デバイスの数に基づいて
、また、前記最大制御コマンド長に更に基づいて、近似色空間に関連し、前記目標色空間
分解能よりも低い分解能の近似色空間分解能、及び／又は、近似強度空間に関連し、前記
目標強度空間分解能よりも低い分解能の近似強度空間分解能を決定し、

前記プロセッサは更に、前記目標色点及び／又は前記目標強度レベルにそれぞれ基づい
て、前記近似色空間内の前記近似色点、及び／又は、前記近似強度空間内の前記近似強度
レベルを決定する、制御デバイス。

【請求項12】

前記第1のインターフェースは、アプリケーションプログラミングインターフェースで
あり、前記第2のインターフェースは、メッシュネットワークインターフェースである、
請求項11に記載の制御デバイス。

【請求項13】

ネットワーク照明デバイスの近同期制御のためのコンピュータプログラムであって、コン
ピュータデバイス上で実行されると、請求項1乃至10の何れか一項に記載の方法を実
行するコンピュータプログラムコードを含む、コンピュータプログラム。